

はじめに

本市の高齢化率は、年々増加しており、平成22年の国勢調査によると31.7%と県より高い状況にあります。今後も少子高齢化の進展により、高齢化率は更に上昇し、医療や介護に係る負担が増大することが予想されます。このことから、市民が生涯にわたって心豊かに生活するために、日常生活動作が自立している期間である健康寿命をより一層延伸する取組が必要となります。

しかし、近年の社会状況の変化に伴い、地域、職業、経済力、世帯構成などにより健康状態や生活習慣に差が見られ、これによる健康状態の格差拡大が危惧されます。

この現状を踏まえ、ライフステージや性別を問わず、全ての市民が生きがいをもって、自らの健康づくりに取り組むことのできる環境を構築することが重要と考えます。

本市では、平成16年3月に「健康おおだて21」を策定し、一次予防を重視しながら健康づくりに関する取組を進めてきました。1次計画が最終年度を迎えるにあたり、取組の結果を評価すると共に、市民を取り巻く社会状況の変化と今後の課題を踏まえて、平成26年度からの計画となる「第2次健康おおだて21」を策定しました。

本計画は、「延ばそう健康寿命 みんなでつくる元気な大館」をスローガンに、病気の発症及び重症化の予防を目標とし、個人の健康を実現するための環境整備と疾病の要因となる生活習慣やライフステージごとの課題に着目した取組を推進します。

また、本市の健康づくりを推進するためには、何よりも、市民の皆さまの主体的な取組と健康づくりに係る関係機関、団体などがそれぞれの役割を果たすことが不可欠です。本計画に掲げた目標の達成に向けて、市民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いします。

最後に本計画の策定にあたり貴重なご意見、ご提言をいただいた「第2次健康おおだて21」計画策定委員の皆さま、関係団体及び調査にご協力いただきました市民の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成26年3月 大館市長 小畑 元